

進路指導部通信

県立高等特別支援学校
進路指導部
2017.3.23 NO.23

今年度最後の「進路指導部通信」です。情報を発信する手段として月一回の発行を目指して取り組んできました。来年度も進路指導部が企業や施設を訪問する中で感じたことや卒業生の動向から見えてきたことを発信していけたら、と思っております。

先日、1年生の生徒と進路指導部とで二者面談を、2年生は生徒・保護者・担任との四者面談を行いました。

1年生は、更に充実した学校生活を送る為に「まだまだ先・・・」と遠い未来のように感じている進路について考え、課題を確認するためです。2年生という学年はとても大切な時期です。学校にも慣れ、一番学校生活が楽しくなる時期でもあります。ここで気がゆるんでしまう生徒としっかりと学校生活を送る生徒とでは、頑張りに差が生じてしまいます。ただ、毎日緊張して、真面目に生活しなさい！というものではありません。「毎日学校に行く」「楽しく学校生活を送る」「自分のことは自分です」ということを当たり前にするということです。当たり前と言っても、個々の悩みや状況は違うでしょう。遅刻や欠席をする、ルールが守れない等、マイナスな行動をしてしまうと、結局は自分が3年生になって後悔します。「まだ2年ある」と思っているかもしれませんが、2年生の時の姿が「本当の実力」なのです。過去の先輩の中にも2年生までは企業で働くのであれば「あたりまえのこと」が当たり前になっていなかったのですが、3年生になってから見違えるように良くなった人がいました。「これなら大丈夫」と就職させてみたところ、就職した途端に問題が噴出し（問題は在学中と同じ内容です）、1年も続かなかった人がいました。思うにその先輩は3年になって「就職」という身近な目標ができたことで「良くなったかのように見えた」だけで本当の実力（継続する力）がついてい

なかったのだと思います。「就職がゴール」というタイプです。2年生という時期は「中だるみの2年」と言われるように、難しい時期でもありますが将来のことを常に頭に置き、日々の生活を過ごして欲しいと思います。

2年生は3年生になると「進路」と真剣に向き合うこととなります。6月にはハローワークや支援機関との「進路相談会」が行われ、これまでの学校生活を振り返り、これからのことについて話し合います。「〇〇を改善しましょう」と課題を言われる場合があります。3年生になってから課題を改善したらいい！のではなく、3年生を良い状態で迎えることが一番大切です。とは言え、これから3年生となる人の中には「まだまだ課題が・・・」と感じている人もいるでしょう。ここでどう変わるのか！という前向きな姿勢がこれから必要となります。変わろうとする自分としっかり向き合って、課題を改善していくことです。それまでに何度もお伝えした、4つの項目を覚えていますか。新年度を迎えるにあたって、下記の4つの観点が備わっているか、振り返ってみましょう。チェック項目に記入しましょう。

観点	内容	チェック
①働く意欲	働きたいという気持ちがあるか	
②健康	心身共に健康であるか	
③生活の安定	生活リズムが安定しているか (遅刻、欠席、早退、保健室の利用等)	
④社会性	マナーやルールが守れるか (挨拶ができる、適切な態度がとれる、素直に注意や助言が聞ける等)	

(裏面へ)

チェックが入った項目が課題です。この課題は社会に出れば、社会という波にもまれて改善できると思われるかもしれませんが、決してそうではありません。遅刻をする生徒は仕事に慣れてくると、遅刻をしてしまいます。素直に人の話を聞けない生徒は会社に慣れてくると、注意された時にふてくされた態度をとってしまいます。環境に慣れるというのは働く上では大事ですが、「慣れ」が自分に甘くなるきっかけでもあります。これは誰しもが経験したことがあるでしょう。「慣れ」を感じた時にいかに自分に厳しく律することができるかですが、自分に厳しくというのはなかなかできないことです。だからこそ、今から意識して取り組んでいかななくてはなりません。

これから春休みに入ろうとしています。家庭では羽を伸ばし、リラックスする時間も必要です。4月を元気に迎える為にもエネルギー補給をしっかりとしておいてください。

そして、4月からけじめある学校生活を送りましょう。

